

松 緑 白 花

Vol 16

石垣市立石垣中学校
教 頭 伊舎堂 用右

先輩に学ぶ

大竹芳典先生（教育実習生）

新川小→石垣中→八重山高校→沖縄大（途中で退学）

石垣に戻り就職した（観光業）。添乗員やバスガイドを担当。大型バスの免許を取得し運転手も勤めた。

観光という仕事をして学んだことは、観光客から植物や花のことを聞かれ、調べていく内に、植物や花の名前だけではなく、開花時期、収穫時期が分かるようになった。これまであまり季節を感じる事がなかったが、より自然の営みを感じるようになった。シーズンオフには、バスなどの板金塗装をして、技を習得。板金塗装も好きになった。

先生の仕事を目指すきっかけとなったことは、友人が教育実習を石垣中で行った様子や話を聞き、教師の魅力にひかれ先生を目指したいと思い、2回目の大学受験に挑戦し大学に復帰した。

中学生の皆さんに伝えたいことは、自分がしたいことを出来なくなったとき、思い通りに行かないとき、自分だけ取り残された気持ちになったときには、目の前にあることで出来ること、頑張れること、チャレンジできる事に、一生懸命に取り組むことです。

先輩からのアドバイスとしては、悲しいときやイライラしたとき、落ち込んだとき、不安なときがあるでしょう。そんな時は、「メロンパンを食べてください」。意外とお腹が空いていたことが原因の場合もあります。お腹が満たされれば、なんとかなることが結構ある。“一生懸命がかっこいい” 石中生の皆さん頑張って！



糸数さやか（教育実習生）

中学校時代はバレエ部に所属。

母と同じ「看護師」になりたいという夢を持っていた。高校受験に向けて具体的な勉強の仕方について、計画を立てて頑張ってもらいたい

高校時代にアメリカに短期留学。コミュニケーションが思うように出来ず、思ったことを伝えることの難しさを感じて帰国した。その時に、英語やその国の文化を学びたいと強く思うようになり、進路を方向転換、現在の大学に進学した。大学受験のためにどのような勉強をしたかを説明。指定校推薦の制度。

アドバイスとして「こんなことに取り組んできた」という自分の強みを持つとよい。

大学生活で先輩に誘われて取り組んだ、学生企画の

イベントに参加。そこでモデルに挑戦。初めての事に戸惑いながらもそこで出会った学生たちとイベント成功のために努力し創り上げた経験は、留学で上手くいかなかったコミュニケーション能力を育む事が出来たのではないかと考えている。中学生に一番伝えたいこと「チャンスだと思ったら、一度やってみる」



先輩から

実習生の2名が、①石中卒業生②年齢が生徒と近い、その点から生徒の皆さんも進路に対してより身近なこととして話を聞くことができたかと思います。実習生の皆さん、ありがとうございました。